

DC 応募に際しての諸注意および応募等スケジュール

文学学術院事務所

1. 応募に際しての注意事項

- ①応募は、各種の申請ファイルを作成し、日本学術振興会の電子申請システムから送信します。電子申請システムの利用には、**ID・パスワード**が必要です。未取得の方は事務所へ申請してください。申請方法の詳細は、My Waseda のお知らせをご参照ください。
- ②2023 年 4 月 1 日現在の在学月数により、ご自身の採用区分を確認してください。休学・留学等の学籍異動があるときは、注意して月数を確認してください（日本学術振興会 HP の資格チェッカーの利用を推奨します）。
- ③DC 採用期間中は**留学ができません**。留学中・留学予定の方は、ご注意ください。
- ④電子申請システムを通して、指導教員（受入研究者）へ評価書作成を依頼します。スケジュール等を指導教員と十分に確認して準備を進めてください。申請者本人の各種申請書・指導教員からの評価書が揃わないと、最終的なエントリーができません。
- ⑤所属部局の表記は、
申請者本人（**大学院生**）の所属：早稲田大学大学院**文学研究科** 部局コード 0001
受入研究者（**指導教員**）の所属：早稲田大学**文学学術院** 部局コード 0072
としてください。
- ⑥電子申請システムでの提出（送信）後は、システムの申請状態が「申請機関受付中」となっていることを必ずご確認ください。
- ⑦大学で、申請書の形式的なチェックをします。不備があるときは連絡しますので、事務所からの連絡に注意して対応できるようにしてください。
※指導教員不備（教員所属は「文学学術院」です）は、評価書情報の再作成が必要となります

2. 今後のスケジュール

～2022 年 4 月 25 日（月）17:00	電子申請システム ID・パスワード発行依頼受付
2022 年 5 月 12 日（木）23:59	申請書類提出（送信）〆切
不備について、修正依頼の連絡をすることがあります。事務所からの連絡に注意してください。	
以下、未確定（前年ベースのご参考）	
2021 年 10 月中旬～11 月下旬	第一次選考結果通知
2021 年 11 月下旬～12 月上旬	第二次選考（面接）
2022 年 1 月上旬	第二次選考結果通知
2022 年 2 月上旬	科学研究費補助金（特別研究員奨励費）募集の周知
2022 年 2 月中旬	科学研究費補助金（特別研究員奨励費）申請書提出
2022 年 2 月中旬～4 月上旬	特別研究員新規採用（内定）者手続
2022 年 4 月 1 日	特別研究員採用決定
2022 年 4 月下旬	科学研究費補助金（特別研究員奨励費）交付内定 ※この日以降に、発注・支出が可能

3. 申請書提出前のチェックについて

□受入研究者の所属部局が「文学学術院」になっていることを確認してください。

申請後等にこの所属部局を修正することになったときは、「評価書情報」がリセットされ、再度、評価者に評価書を作成してもらうことになりますので、注意が必要です。

□連絡先 e-mail 欄は、正確に入力してください。

□ポイントとなる点を目立たせる（文字サイズに変化をつける、下線を引く等）工夫も必要です。

□モノクロ印刷しても支障のない体裁で作成してください。

□各項目の上部の（細かい）注意書きに従って記載してください。

例：人権の保護及び法令等の遵守への対応 ⇒ 該当がない場合は「該当なし」と記載

研究業績 ⇒ 申請者氏名に下線、発表者には○を記載

□指導教員等、第三者に申請書を見てもらい、補足・修正すべき点等がないか等を確認（そのためにも、準備には早めに着手しましょう）してください。

4. 申請書作成にあたってのアドバイス（採用者のアンケートから抜粋）

◇専門用語を多用せず、平易な言葉で、わかりやすく自分の考えを伝えるように注意しました。初見の審査員（専門分野以外の方が見る場合も想定する）にも、研究内容を理解してもらえるように記載しました。

◇研究計画の一貫性、過去の研究業績と今後の研究計画との連続性を一読して記載しました。

◇自分の研究が、どのように社会に役立つか（研究の重要性等）をアピールするよう、心がけました。

◇漠然とした記述、曖昧な記述を避け、なるべく具体的に記載しました。

◇指導教員以外にも、採択実績のある先輩などからフィードバックを多く集めました。

以 上